

賃貸生活

CHINTAI®

安い! 広い! 心地よい! 和のある暮らしがここにある

首都圏版

[掲載地域]
東京都・神奈川県
千葉県・埼玉県

2017
2/02号 **260円**



特別付録

アンティーク木目調
特製スマホスタンド



和 ええじゃないか!

選ばれし9人が語る和室の価値

和室マスターに聞いた
和の部屋づくり十カ条

知っておきたい畳の豆知識6

九

特に和室は好きではないという空間作りのプロが
一目惚れした部屋とは一体……?

匠即決！自分史上最高の部屋



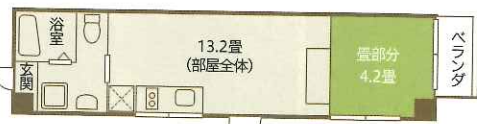
PROFILE T.Oさん

職業 建築設計事務所勤務

居住形態 1人

居住地 東京都

量部分 4.2畳



築年数 ● 33年 間取り ● 1R

家賃 ● 7万2000円

建物 ● 6階建てRCマンション

量とコンクリート そのクールさに惹かれた

ワンルームマンション×量という組み合わせは珍しい。板橋区の志村に建つ築33年のマンションに、その部屋があった。住んでいるのは、大手の建築設計事務所勤める34歳のT.Oさん。

ドアを開けると打ちっぱなしのオシャレな壁が出現。右手が小上がりになっており、そこには畳が。ただし普通の畳ではなく、正方形で縁無し琉球畳。ここはリノベーション物件を専門に扱う不動産会社の物件なのだ。

「引越そうと思っていて、ネットで探していたんですけど、なかなかピンとくる物件がなくて。そんな中、引越しと全く関係のない検索ワードで、たまたまその不動産会社のサイトに行きついたんです。そうしたら、この部屋がトップに載っていた。すぐに内見して、その日に決めました」

この物件、実はT.Oさんがサイトをチェックした当日にリリースされたもの。彼の次に内見をした方も非常に気に入ったそうだが、タッチの差で決まったと聞いて地団駄を踏んだそう。

「即決して、良かったです(笑)」

決め手になったのは空間構成。 このあたりは職業柄ならではの視点もあるのだろう。

「緩やかに区切られた小上がりの畳スペースがありつつ、全体を通したコンクリートの壁があることで一室のように感じられる。このクールさに惹かれました」

小上がりの下が収納となっており、奥行きのある大きな引き出しになっているのだ。「使わない布団を圧縮してここにしまえるし、とても便利です」

同じ部屋に2年以上 住んだ経験が無い

実際に琉球畳のエリアが上がってみると、南向きの窓際なので、とても明るい。畳の柔らかな色合いも相まって、アーバンなリビングエリアとは別世界のようだ。

T.Oさんはここにベッドを持ち込み、寝室として使っている。「職業柄、日本の古い建築や伝統的な造形には興味があります。長く残るものは真正銘の形だと思えます。とはいえ和室に強いこだわりがあるわけではなく、単純にゴロンと寝転がれるような空間として使えるのが好きなんです。この小上がりスペースは、居るだけで落ち着きますね」

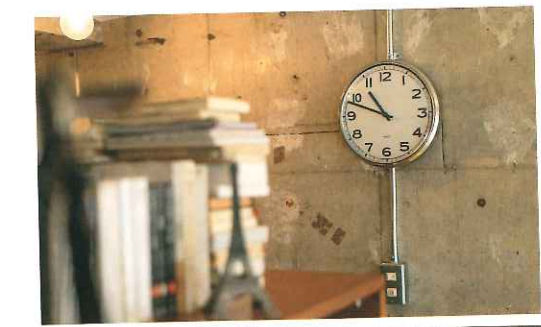
クローゼットの横には、曾祖母から受け継いだ衣紋掛けも。「和室を演出するために、わざわざ実家から持ってきたわけでは無いんですけどね。コートやジャケット、マフラーなどを一時的に掛けておくのに重宝しています」

T.Oさんは東京出身だが、大学は札幌、大学院は東京、最初の勤め先は神戸と全国を転々としており、同じ部屋に2年以上住んだ経験が無いとのこと。

「更新ごとに引越していましたが、この部屋は居心地が良いので、もしかしたら長く住むかも」

空間構成のプロが一目惚れしたこの部屋なら、人生初の更新をする可能性は高そう。

他に無いものを探した結果、量のある空間にたどり着いたT.Oさん。これを超える物件は今後出てくるのだろうか



縁なし畳なので和テイストが強くなり過ぎず、シンプルなデザインの空間にマッチしている



2mほどの奥行きのある引き出しにはかなりの量が収納できる



左：モンゴルで撮影した火事で焼けてしまった街の写真。無機質な壁と一体化している 右：和を意識したわけではないが曾祖母から受け継いだ衣紋掛けがなじむ